

にんにく卵黄 『青春の元』 たより  
( 11月号 ) 株式会社パワーボール

【秋深き 隣は何を する人ぞ】 松尾芭蕉

秋も深まり、初冬の気配も感じられる頃となりましたが、「青春の元」ご愛用の皆様には、御健勝のこととお喜び申し上げます。

上に掲げました俳句は、松尾芭蕉の最晩年の詠句で、芭蕉が亡くなる2週間前の9月28日、芭蕉51歳の時の秀句です。

床に臥してしまった芭蕉は、お隣の人の動きが気になっていたのでしょうか。またこの句と対にして詠まれている『旅に病んで夢は枯野を かけ廻る』の秀句も載せておきますので、ご鑑賞ください。

さて、このような秀句などに出会いますと自分の心が文化の香りに包まれているような感じがします。その香りを彷彿させるのが

《文化の日》です。

この日は明治6年制定の、明治天皇の誕生日『天長節』です。それから昭和2年『明治節』と改正、戦後昭和21年「文化の日」と定められ、《自由と平和を愛し、文化をすすめる日》となりました。皆さん、文芸、絵画、音楽など日本のかぐわしい文化に出合い、その心深まるひと時をお楽しみくださることを願っています。



晩秋の王『皇帝ダリア』

(ダリア・インペリアリス)



子供の長久を祝う「千歳飴」

さて、11月15日は子供の成長を祝う《七・五・三》です。7歳・3歳の女の子。5歳・3歳になった男の子の健康と「千歳飴」の意味にももられているようにこの子たちの長久を祈る日でもあります。

昔は3歳では「髪置(かみおき)」を5歳の子は「袴着(はかまぎ)」、7歳では「帯解(おびとき)」という儀式が行われたと言われていました。可愛い子供、孫たちの晴れの日をお祝いしてあげましょう。

11月に気づかう 【秋の健康管理】 寒の入り



イメージキャラクター

「青春の元」ご愛用の皆様はご存知のように、11月には季節の節目の日が二日もあります。それは7日の【立冬】と22日の《小雪》です。この名前を見ただけでも寒さを感じさせる24節気の一つです。

さて、寒さが加わってくると高齢者の方々には、『脳梗塞』が心配されます。そこでその『脳梗塞』の前ぶれを見逃さないための要点をお知らせします。

- ① 体の半身に力が入らない。食事中に箸を落とす。② 体の半身がしびれる。感覚が鈍くなる。③ 舌がもつれ、言葉が出ない。意味が分からない。④ ふらつく。めまいがする。⑤ 物が二重に見える。片側が見えない。

などだそうです。そんなことに出合わないよう、に従業員一同心から祈念申し上げます。

( 文責 顧問 M.T )

